

無雪期における富山市野積川の鳥類相

高橋輝男

富山市ファミリーパーク

〒930-0151 富山県富山市古沢254

Bird survey in Nozumi river, Toyama city, Toyama Prefecture, Japan

Teruo Takahashi

Toyama Municipal Family Park Zoo, 254 Furusawa, Toyama-shi, Toyama 930-0151, Japan

要約：2018年4月から11月までの間、富山県富山市八尾町の野積川において、鳥類の生息調査を行った。西松瀬～獺師ヶ原間の月3回ずつのラインセンサスと、流域4カ所での月2回のスポットセンサス、および目撃情報の収集を実施した。ラインセンサスでは58種、スポットセンサスとその他の記録を含めると74種の鳥類を確認した。当調査地の鳥類相の特徴として、ヒヨドリ、ホオジロやカラ類に加えてカワガラスやヤマセミなど渓流性鳥類は多く生息する一方、通常の農村で多く見られる地上採食性の鳥類は優占しない傾向が認められた。

はじめに

富山県生物学会の野積川流域総合調査の一環として、鳥類の生息調査を行ったので報告する。

調査地と調査方法

調査は2018年4月から11月までの間、富山県富山市の野積川にてラインセンサス調査とスポットセンサス調査、目撃鳥類の記録を行った。

ラインセンサス調査では松瀬橋を起点に西松瀬を通り獺師ヶ原発電所上流の分岐点までの標高280～440m、1.852kmのコースを時速約2kmで歩行しながら観察半径50mの範囲に出現した鳥類種と個体数を記録した。調査はおおむね日の出時刻後4時間までの間に、各月に3回ずつ、計24回実施した。(図1)

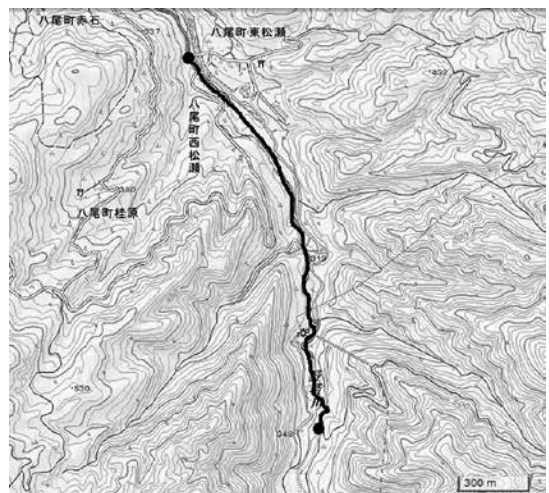


図1 ラインセンサスルート

(国土地理院地図の地理院地図(電子国土web)より作図)

ラインセンサスルート観察半径の環境要素を現地で目視確認しメッシュ地図上に記入して面積比を算出したところ、樹林74%、耕地3%、草地・荒地(休耕地・耕作放棄地を含む)15%、水域7%、その他1%であった。

スポットセンサスは高熊橋、八十島橋、布谷橋、松瀬橋の4カ所で午前中に各20分の定点観測を各月に2回ずつ実施し、範囲を定めずに目撃できた全ての鳥類の種と個体数を記録した。(図2)



図2 スポットセンサス地点
(国土地理院地図より作図)

結果及び考察

1) 出現種および出現個体数

ラインセンサスにおける月ごとの出現種および平均出現個体数を、表1に示した。4月～11月の8か月間で29科58種の鳥類を確認した。

2) 月ごとの種数と出現個体数

センサスルートの月ごとの出現種数を図3に、両ルートのラインセンサスにおける1km(10ha)あたりの平均出現個体数を図4に示した。

種数は5月の36種をピークに9月の21種に向けてゆるやかに減少した。

個体数は6月繁殖期の59.94羽/10haをピークに10月の14.76羽/10haへと減少傾向を示した。年間通しての評価については、今後、冬期間のデータを加味した上で検討したい。

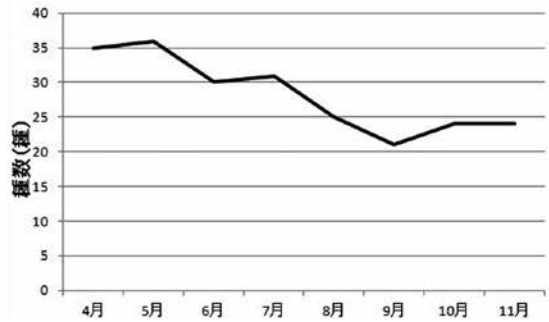


図3 月ごとの出現種数

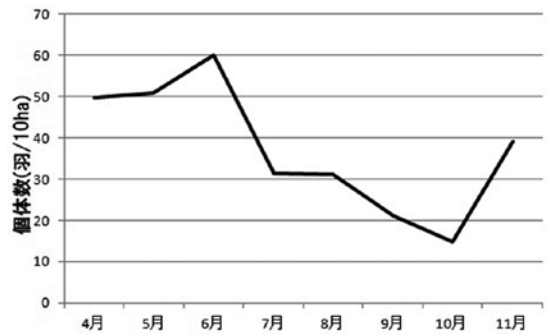


図4 月ごとの出現個体数(羽/10ha)

3) 主要種および優占度

各月の確認種のうち個体数の多かった上位十種と個体数の割合を表2に示した。

調査期間を通してホオジロ・ヒヨドリ・カラ類の優占度が高く、季節によってイワツバメ・カワガラス・ウグイスが優占種に入った。全体としては、由井(1976)による繁殖期鳥類群集の類型のクヌギコナラ林型(ヒヨドリーホオジローシジュウカラ群集)に最もよく合致した。

表1 ラインセンサスにおける月ごとの出現種および平均出現個体数

観 祭 日	4月平均	5月平均	6月平均	7月平均	8月平均	9月平均	10月平均	11月平均
1 トビ	0.33		0.67					
2 サシバ	1.33	1.00	1.00	1.33			0.67	
3 クマタカ	0.33				0.33	0.33		
4 ヤマドリ	0.33						0.33	
5 キジバト	1.67	0.33	4.33	2.33	3.00	2.00		0.33
6 アオバト		1.00	1.33	1.00				
7 カッコウ						0.67		
8 ツツドリ		0.67	0.33		0.67			
9 ホトトギス		0.33	1.33	0.33	0.33			
10 ヤマセミ	0.67	0.00	0.67	0.33	0.33	0.33	0.33	1.33
11 アカショウビン		0.33	0.33	0.33				
12 カワセミ					0.33			
13 アオゲラ	1.00	0.33	0.33	0.33		1.00		0.33
14 アカゲラ	0.33					0.33	0.33	1.00
15 オオアカゲラ							0.33	
16 コゲラ	0.67	0.67	0.67	0.33		0.33		1.67
17 ツバメ	0.33	2.67	8.33	2.00	2.67			
18 コシアカツバメ					0.67			
19 イワツバメ	23.00	14.00	23.00					
20 キセキレイ	4.67	4.33	3.33	1.00	2.33	1.00		0.33
21 セグロセキレイ	0.33						0.33	1.00
22 サンショウクイ	0.33	2.33	2.33	0.67				
23 ヒヨドリ	4.33	17.67	23.00	13.33	13.00	10.33	2.00	5.33
24 モズ	1.00						0.33	
25 カワガラス	1.67	2.33	2.33	0.67	4.33	1.00	1.67	4.33
26 ミソサザイ	3.00			0.33				
27 ルリビタキ								1.00
28 ジョウビタキ	1.00							0.67
29 ノビタキ						0.33		
30 クロツグミ		1.00	1.00	1.67	0.67			
31 アカハラ		0.33						
32 シロハラ							0.33	0.33
33 ヤブサメ	1.00	0.67	0.67	0.33	0.33			
34 ウグイス	7.33	4.33	4.00	4.67	3.00	1.67	0.33	3.67
35 エゾムシクイ		0.33			0.33			
36 センダイムシクイ	0.33	0.67		0.33				
37 キビタキ		2.33	1.00	2.00	0.33	0.67	0.67	
38 オオルリ	0.67	3.67	0.67	1.00	0.33		0.33	
39 コサメビタキ		0.33				1.00	1.33	
40 サンコウチョウ		0.33	0.67	0.33				
41 エナガ	0.67	3.00	2.00	2.67	1.67	2.00	2.00	4.00
42 コガラ	0.33							
43 ヒガラ	1.33						1.00	1.00
44 ヤマガラ	5.33	3.33	5.33	1.67	2.67	3.33	3.67	5.67
45 シジュウカラ	6.33	9.33	8.00	8.67	5.67	5.33	4.33	10.00
46 ゴジュウカラ							0.67	
47 メジロ	2.67	1.00	1.00	0.67	0.67		0.67	0.67
48 ホオジロ	13.00	10.00	10.33	5.67	12.67	3.33	2.67	11.33
49 カシラダカ	1.00							2.67
50 アオジ								10.00
51 カワラヒワ	2.00	1.33		0.33				
52 ベニマシコ								0.67
53 ウソ	0.33							
54 イカル		0.67	0.33	1.00	0.67		0.33	
55 スズメ		1.00						
56 カケス	2.67	1.67	2.33	0.67	0.33	2.33	2.33	4.67
57 ハシボソガラス	0.67	0.33		1.00		0.67		
58 ハシブトガラス		0.67	0.33	1.00	0.33	1.00	0.33	0.67
合計個体数	92.00	94.33	111.00	58.00	57.67	39.00	27.33	72.67
種 数	35	36	30	31	25	21	24	24
個体数 (n/10ha)	49.68	50.94	59.94	31.32	31.14	21.06	14.76	39.24

表2 月ごとの優占種と優占度

4月	%	5月	%
イワツバメ	25.00	ヒヨドリ	18.73
ホオジロ	14.13	イワツバメ	14.84
ウグイス	7.97	ホオジロ	10.60
シジュウカラ	6.88	シジュウカラ	9.89
ヤマガラ	5.80	ウグイス	4.59
キセキレイ	5.07	キセキレイ	4.59
ヒヨドリ	4.71	オオルリ	3.89
ミソサザイ	3.26	エナガラ	3.53
メジロ	2.90	エナガ	3.18
カケス	2.90	ツバメ	2.83

6月	%	7月	%
イワツバメ	20.72	ヒヨドリ	22.99
ヒヨドリ	20.72	シジュウカラ	14.94
ホオジロ	9.31	ホオジロ	9.77
ツバメ	7.51	ウグイス	8.05
シジュウカラ	7.21	エナガ	4.60
ヤマガラ	4.80	キジバト	4.02
キジバト	3.90	ツバメ	3.45
ウグイス	3.60	キビタキ	3.45
キセキレイ	3.00	クロツグミ	2.87
サンショウウクイ	2.10	ヤマガラ	2.87
カワガラス	2.10		
カケス	2.10		

8月	%	9月	%
ヒヨドリ	22.54	ヒヨドリ	26.50
ホオジロ	21.96	シジュウカラ	13.68
シジュウカラ	9.83	ヤマガラ	8.55
カワガラス	7.51	ホオジロ	8.55
ウグイス	5.20	カケス	5.98
キジバト	5.20	エナガ	5.13
ヤマガラ	4.62	キジバト	5.13
ツバメ	4.62	ウグイス	4.27
キセキレイ	4.05	アカゲラ	2.56
エナガ	2.89	キセキレイ	2.56
		カワガラス	2.56
		コサメビタキ	2.56
		ハシブトガラス	2.56

10月	%	11月	%
シジュウカラ	15.86	ホオジロ	15.60
ヤマガラ	13.42	シジュウカラ	13.76
ホオジロ	9.76	アオジ	13.76
カケス	8.54	ヤマガラ	7.80
エナガ	7.32	ヒヨドリ	7.34
ヒヨドリ	7.32	カケス	6.42
カワガラス	6.10	カワガラス	7.34
コサメビタキ	4.88	エナガ	5.50
ヒガラ	3.66	ウグイス	5.05
キビタキ	2.44	カシラダカ	3.67
ゴジュウカラ	2.44		
メジロ	2.44		

白岩川ダム周辺（高橋，2017）、上市川ダム周辺（高橋，2018b）など農村によく見られるハシボソガラス・モズ・スズメ・キジ・トビ・ノスリなどは、ラインセンサス調査地では観察されないか数が少なかった。

この傾向は大岩川（高橋，2016）、山田地域の湯谷川（高橋，2018a）にも見られ、谷が急峻で耕作地や耕作放棄地、河原が少ない環境が、これら地上採食性の鳥類の生息には適さないことを示唆した。

4) 特記すべき種

クマタカ

地上採食性の大型猛禽類で、環境省は絶滅危惧 I B 類に、富山県は絶滅危惧 I 類に指定している。本調査では2018年4月12日のラインセンサス時、1個体が地上を見渡ししながら帆翔しつつエリア内を通過した観察事例のみであり、定着はしていないと思われた。

サンバ

地上採食性の中型猛禽類で、環境省は絶滅危惧 II 類に、富山県は絶滅危惧 I 類に指定している。本調査では2018年4月12日のラインセンサスにて3個体、同7月11日、7月17日、10月5日に2個体など繁殖期にもコンスタントに出現を続けており、ラインセンサスエリア付近での繁殖活動が予測された。

ヤマセミ

溪流で魚食を捕食するショウビン類で、富山県は絶滅危惧 II 類に指定している。ラインセンサスでは全期間を通して1～2羽が記録され、2羽同時の出現も3度あったほか、2018年11月14日のラインセンサスで2羽同時出現した同じ日に布谷橋のスポットセンサスで別個体2羽が同時出現しており、複数の繁殖ペアが常在している可能性が示唆された。

カワガラス

水中の昆虫類を捕食する鳥類である。ラインセンサスではすべての月に観察され、2018年6月15日には5羽、同8月8日には7羽など個体数も多く確認された。

また、スポットセンサス地点4カ所全てでも確認されたが、下流側の高熊橋では4月のみ、八十島橋では8・9・11月のみの出現だったのに対し、上流側の布谷橋および松瀬橋では5・6・8・10・11月に出現しており、上流側により多く生息する傾向が示唆された。

謝辞

本稿をまとめるにあたり、魚津水族館の不破光大氏にはオンドリの生息情報を提供いただいた。この場をお借りして感謝いたします。

引用文献

- 日本鳥学会（編）. 2012. 日本鳥類目録改訂第7版. 438pp. 日本鳥学会, 東京.
- 高橋輝男. 2016. 大岩川の鳥類. 富山の生物. 55: 91-100.
- 高橋輝男. 2017. 白岩川ダム周辺の鳥類. 富山の生物. 56: 108-115.
- 高橋輝男. 2018 a. 富山市山田地域の森林性鳥類相. 富山の生物. 57: 98-106.
- 高橋輝男. 2018 b. 上市川ダム周辺の鳥類. 富山の生物. 57: 107-114.
- 富山県. 2012. 富山県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックとやま2012. 31-75. 富山県.
- 由井正敏. 1976. 森林性鳥類の群集構造解析 I. 山階鳥研報. 47: 223-248.
- 由井正敏. 1977. 森林性鳥類の群種構造解析 II. 山階鳥研報. 49: 29-45.

富山市野積川の鳥類目録（無雪期）

本調査で確認した鳥類74種を、分類群別に学名、和名の順に記載し、指定等を付記した。ラインセンサス以外で記録された種および特記事項のある種については、主な記録について観察年月日と個体数、観察場所、観察者名を付記した。

なお、学名は日本鳥類目第7版（日本鳥学会, 2012）に、環境省のカテゴリーは環境省レッドリスト2017に、富山県のカテゴリーはレッドデータブックとやま2012に拠った。

PHASIANIDAE キジ科

1. *Syrnaticus soemmerringii* ヤマドリ
2018-04-19 1羽 ラインセンサス 高橋
2. *Phasianus colchicus* キジ
2018-04-19 1羽 高熊橋 高橋
2018-05-15 1羽 布谷橋 高橋

ANATIDAE カモ科

3. *Aix galericulata* オンドリ
2017-05-08 2羽 狛師ヶ原発電所取水口上流不破
環境省：情報不足
4. *Anas zonorhyncha* カルガモ
2018-08-02 18羽 八十島橋 高橋
2018-11-07 5羽 高熊橋 高橋
5. *Mergus merganser* カワアイサ
2018-04-05 2羽 高熊橋 高橋

COLUMBIDAE ハト科

6. *Streptopelia orientalis* キジバト
7. *Treron sieboldii* アオバト

ARDEIDAE サギ科

8. *Ardea cinerea* アオサギ
2018-09-19 2羽 高熊橋 高橋
9. *Ardea alba* ダイサギ
2018-08-08 1羽 高熊橋 高橋

CUCULIDAE カッコウ科

10. *Cuculus poliocephalus* ホトトギス
11. *Cuculus optatus* ツツドリ
12. *Cuculus canorus* カッコウ

CHARADRIIDAE チドリ科

13. *Charadrius placidus* イカルチドリ
富山県：準絶滅危惧
2018-10-15 2羽 高熊橋 高橋
2018-08-02 1羽 八十島橋 高橋
14. *Charadrius dubius* コチドリ
富山県：準絶滅危惧
2018-04-24 2羽 高熊橋 高橋

SCOLOPACIDAE シギ科

15. *Tringa ochropus* クサシギ
2018-10-01 1羽 高熊橋 高橋
16. *Actitis hypoleucos* イソシギ
2018-04-24 1羽 高熊橋 高橋

ACCIPITRIDAE タカ科

17. *Milvus migrans* トビ
 18. *Accipiter gentilis* オオタカ
 環境省：準絶滅危惧
 富山県：絶滅危惧Ⅱ類
 2017-07-17 1羽 布谷橋 高橋
19. *Butastur indicus* サンバ
 環境省：絶滅危惧Ⅱ類
 富山県：絶滅危惧Ⅰ類
 2018-04-12 3羽 ラインセンサス 高橋
20. *Nisaetus nipalensis* クマタカ
 2018-00-00 1羽
 環境省：絶滅危惧ⅠB類
 富山県：絶滅危惧Ⅰ類
 2018-04-12 1羽 松瀬橋 高橋

ALCEDINIDAE カワセミ科

21. *Halcyon coromanda* アカショウビン
 富山県：準絶滅危惧
 2018-06-15 1羽 ラインセンサス 高橋
22. *Alcedo atthis* カワセミ
 富山県：準絶滅危惧
 2018-08-08 1羽 ラインセンサス 高橋
23. *Megaceryle lugubris* ヤマセミ
 富山県：絶滅危惧Ⅱ類
 2018-11-14 2羽 ラインセンサス 高橋
 2018-11-14 2羽 布谷橋 高橋

PICIDAE キツキ科

24. *Dendrocopos kizuki* コゲラ
 25. *Dendrocopos leucotos* オオアカゲラ
 26. *Dendrocopos major* アカゲラ
 27. *Picus awokera* アオゲラ

CAMPEPHAGIDAE サンショウクイ科

28. *Pericrocotus divaricatus* サンショウクイ
 環境省：絶滅危惧Ⅱ類
 富山県：準絶滅危惧
 2018-06-11 3羽 ラインセンサス 高橋

MONARCHIDAE カササギヒタキ科

29. *Terpsiphone atrocaudata* サンコウチョウ
 富山県：準絶滅危惧
 2018-05-15 1羽 ラインセンサス 高橋

LANIIDAE モズ科

30. *Lanius bucephalus* モズ

CORVIDAE カラス科

31. *Garrulus glandarius* カケス
 32. *Corvus corone* ハシボソガラス
 33. *Corvus macrorhynchos* ハシブトガラス

PARIDAE シジュウカラ科

34. *Poecile montanus* コガラ
 35. *Poecile varius* ヤマガラ
 36. *Periparus ater* ヒガラ
 37. *Parus minor* シジュウカラ

HIRUNDINIDAE ツバメ科

38. *Hirundo rustica* ツバメ
 39. *Hirundo daurica* コシアカツバメ
 2018-7-17 6羽 八十島橋 高橋
40. *Delichon dasypus* イワツバメ
 2018-04-12 62羽 ラインセンサス 高橋

PYCNONOTIDAE ヒヨドリ科

41. *Hypsipetes amaurotis* ヒヨドリ

CETTIIDAE ウグイス科

42. *Cettia diphone* ウグイス
 43. *Urosphena squameiceps* ヤブサメ

AEGITHALIDAE エナガ科

44. *Aegithalos caudatus* エナガ

PHYLLOSCOPIDAE ムシクイ科

45. *Phylloscopus borealoides* エゾムシクイ
 46. *Phylloscopus coronatus* センダイムシクイ

ZOSTEROPIDAE メジロ科

47. *Zosterops japonicus* メジロ

SITTIDAE ゴジュウカラ科

48. *Sitta europaea* ゴジュウカラ

TROGLODYTIDAE ミソサザイ科

49. *Troglodytes troglodytes* ミソサザイ

CINCLIDAE カワガラス科

50. *Cinclus pallasii* カワガラス

MUSCICAPIDAE ヒタキ科

51. *Turdus cardis* クロツグミ
52. *Turdus pallidus* シロハラ
53. *Turdus chrysolus* アカハラ
54. *Turdus naumanni* ツグミ
55. *Luscinia akahige* コマドリ
56. *Luscinia cyane* コルリ
2018-4-12 1羽 布谷橋 高橋
57. *Tarsiger cyanurus* ルリビタキ
58. *Phoenicurus aureus* ジョウビタキ
59. *Saxicola torquatus* ノビタキ
60. *Muscicapa dauurica* コサメビタキ
富山県：準絶滅危惧
2018-10-15 3羽 ラインセンサス 高橋

61. *Ficedula narcissina* キビタキ

62. *Cyanoptila cyanomelana* オオルリ

PASSERIDAE スズメ科

63. *Passer montanus* スズメ

MOTACILLIDAE セキレイ科

64. *Motacilla cinerea* キセキレイ
65. *Motacilla alba* ハクセキレイ
66. *Motacilla grandis* セグロセキレイ

FRINGILLIDAE アトリ科

67. *Chloris sinica* カワラヒワ
68. *Uragus sibiricus* ベニマシコ
69. *Pyrrhula pyrrhula* ウソ
70. *Eophona personata* イカル

EMBERIZIDAE ホオジロ科

71. *Emberiza cioides* ホオジロ
72. *Emberiza rustica* カシラダカ
73. *Emberiza spodocephala* アオジ

他に外来種として

COLUMBIDAE ハト科

74. *Columba livia* カワラバト (ドバト)
2018-05-01 1羽 高熊橋 高橋